

成田市議会だより



成田市観光
キャラクター うなりくん

平成24年 9月定例会

主な内容

常任委員会	3
議案と審議結果一覧	5
決算特別委員会を設置	6
特別委員会	6
一般質問	8
コーヒータ임	14

成田富里いずみ清掃工場

成田市と富里市が共同で建設を進めてきた新たなごみ処理施設が10月より稼働。今後、余熱を利用した温浴施設などの整備が計画されています。

16議案を可決・同意

成田市と富里市の一般廃棄物処理事務の委託に関する協議や 下総小学校及び児童ホーム新築工事請負契約の締結など

平成24年9月定例会は、8月31日に招集され9月20日まで21日間の会期で開かれました。定例会の初日には、24議案が上程されました。

9月4日には、決算特別委員会が新たに設置されました。

一般質問は、9月4日から4日間、17人の議員が登壇して行われ、7日には議案4件を同意しました。10日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案11件と追加議案1件を原案どおり可決しました。なお、平成23年度決算関係9議案は継続審査となり閉会しました。

9月定例会の日程

月 日	内 容
8月31日(金)	本会議（開会、会期の決定、全議案一括上程）
9月 4日(火)	本会議（一般質問）、決算特別委員会
5日(水)	本会議（一般質問）
6日(木)	本会議（一般質問）
7日(金)	本会議（一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託）、 決算特別委員会
10日(月)	空港対策特別委員会
11日(火)	建設水道常任委員会、経済環境常任委員会
12日(水)	教育民生常任委員会
13日(木)	地域防災特別委員会、医療問題特別委員会
14日(金)	総務常任委員会
20日(木)	本会議（会議録署名議員指名、議案審議、閉会）

常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

総務 常任委員会

議案3件をいずれも可決しました。
所管事務について5件の報告を受けました。



▼字の区域及び名称を変更 (西大須賀区、四谷区及び新川区)

[内 容] 地域住民の合意及び関係機関との調整が整ったことから、地域住民の利便性の向上を図るため、「西大須賀」の一部の区域と名称を「四谷」及び「新川」に変更するもの。

▼平成24年度成田市一般会計補正予算 (第2号)

[内 容] 認定農業者が実施する高性能機械施設などの導入支援や、観光キャラクターのイメージソングに合わせたダンスの制作、北羽鳥多目的広場の砂じん対策としての芝張り工事などを行うにあたり、歳入歳出それぞれ11億41万7千円の増額補正を行うもの。

- [主な質疑]
- 問 観光キャラクター主題歌のダンス制作に東日本大震災復興基金を充当することについてどのように考えているか。
 - 答 震災により影響のあった観光客の一層の誘致を目指すという観点から活用したものである。

教育民生 常任委員会

議案6件をいずれも可決し、陳情2件を不採択、趣旨採択としました。
所管事務について7件の報告を受けました。

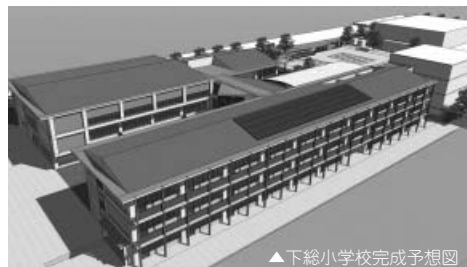
▼成田市十余三パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部改正

[内 容] 平成25年4月からの久住パークゴルフ場の指定管理者制度^{注1}導入に伴い、十余三パークゴルフ場の管理について規定している条例の題名を成田市パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例に改め、久住パークゴルフ場の規定を加えるとともに、料金設定の一部を改正するもの。

^{注1} 公の施設の管理運営を、地方公共団体が指定した民間事業者を含む法人・団体に代行させることができる制度。

▼成田市立下総小学校及び児童ホーム 新築工事請負契約の締結

[内 容] 学校適正配置に基づき地区内の4つの小学校を統合し、平成26年4月の開校を目途に、児童ホームを併設した小学校を新設するにあたり、建築工事、電気設備工事及び機械設備工事についてそれぞれ請負契約を締結しようとするもの。



▲下総小学校完成予想図

- [主な質疑]
- 問 小中一貫教育の学校として建物の特徴は。
 - 答 職員室は小中学校の先生が全員入れるスペースを確保している。また、校舎の真ん中に屋根付きの交流広場を設けた。
 - 問 電気設備工事と機械設備工事は電子入札、建築工事は郵便入札だが、分けた理由は。
 - 答 建築工事は大規模な難易度の高い工事であることからJV^{注2}に発注したため、電子入札システムが使えなかったことによる。

^{注2} 複数の建設企業が、一つの建設工事を受注、施工することを目的として形成する事業組織体。

経済環境 常任委員会

議案3件をいずれも可決しました。
所管事務について9件の報告を受けました。

▼成田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

[内 容] 地域主権改革一括法の公布に伴い、一般廃棄物処理施設における技術管理者の資格について、市町村が条例で定めることとされたことから、その規定を追加するとともに、事業系一般廃棄物の処理手数料を1kg単位から10kg単位に改正するもの。

[主な質疑] **問** 技術管理者はどのような資格を有する者を配置するのか。
答 成田市では財団法人日本環境衛生センターの講習会を受講し資格試験に合格した者を、技術管理者として現在も配置している。

▼成田市と富里市の一般廃棄物処理事務の委託に関する協議

[内 容] 富里市と共同で整備を進めている成田富里いずみ清掃工場が10月1日に共用開始されることから、富里市の一般廃棄物の処理事務について、成田市が事務の委託を受け処理していこうとするもの。

建設水道 常任委員会

付託された議案はありませんでした。
所管事務について5件の報告を受けました。

●委員会で審査された陳情

- | | | |
|-----------------------------|------|-------------|
| ▶ 認可外保育施設利用者補助金制度に関する陳情書 | 不採択 | ＜教育民生常任委員会＞ |
| ▶ 認可外保育施設への補助金に関する陳情 | 趣旨採択 | ＜教育民生常任委員会＞ |
| ▶ 陳情書（看護学校運営資金の援助、奨学金制度の確立） | 趣旨採択 | ＜医療問題特別委員会＞ |

※趣旨採択とは、採択方法のひとつで、内容について趣旨や願意は妥当で理解できるが、実現させる際に一部課題もある場合などに取られる。

早議 はやくわかれ



「本会議」とは

議員全員で構成された議場で行う会議のことをいい、原則として議員定数の半数以上の議員が出席しなければ開くことができません。本会議は、議案などの審議や、議会としての最終意思の決定（議決）をする会議で、議員が議案や市政全般について質問をします。

「委員会」とは

本会議における審議の予備的審査、調査機関として設置される組織として、本会議から付託された議案の審査などを行う常任委員会、特定の問題の調査・審査を行うために必要に応じて設置される特別委員会があります。現在、成田市では4常任委員会、3特別委員会、また、議会の運営方法についての協議などを行う議会運営委員会が設置されています。



議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										豪政会			リベラル成田			公明党		共産党		市工										
			神岡 勝	福島 浩一	伊橋 利保	雨宮 真吾	佐久間 一彦	湯浅 雅明	小澤 孝一	秋山 忍	荒木 博	神岡 利一	村嶋 照等	石渡 孝春	平良 清忠	宇都宮 高明	海保 貞夫	飯島 照明	小山 昭	上田 信博	青野 勝行	伊藤 昌一	海保 茂喜	伊藤 竹夫	油田 清	一山 貴志	水上 幸彦	大倉 重雄	鶴澤 治	馬込 勝未	足立 清智子	會津 素子	
◆ 議案																																	
1	教育委員会委員の任命 (小川 新太郎)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	教育委員会委員の任命 (高木 久美子)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	人権擁護委員の推薦 (大里 操)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	人権擁護委員の推薦 (三浦 節子)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	成田市のぞみの園の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市十余三パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	成田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	成田市火災予防条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	成田市立下総小学校及び児童ホーム新築工事 (建築工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	成田市立下総小学校及び児童ホーム新築工事 (電気設備工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	成田市立下総小学校及び児童ホーム新築工事 (機械設備工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	字の区域及び名称を変更 (西大須賀区、四谷区及び新川区)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	成田市と富里市の一般廃棄物処理事務の委託に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成24年度成田市一般会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	市有財産の取得 (新清掃工場整備事業用地)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 平成23年度決算関係議案 (議案第15号~23号) は継続審査。
 ※ ○=賛成、×=反対
 ※ 議長 (宇都宮 高明) は採決に加わりません。
 ※ 会派等の名称の略は次のとおり 共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、工=エコピースの会

特別委員会

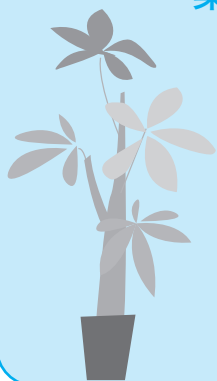
委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。



決算特別委員会を設置



平成23年度の決算関係9議案を審査する決算特別委員会が、9月定例会において設置されました。決算特別委員会は閉会中に開催され、集中的に審査を行います。



委員長	伊藤	竹夫		
副委員長	湯浅	雅明		
委員	會津	素子	飯島	照明
	神崎	勝	佐久間	一彦
	鵜澤	治	大倉	富重雄



空港対策 特別委員会

●第4回成田空港騒音対策検討委員会の概要

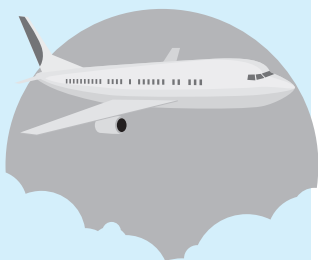
7月26日開催の委員会では、3項目の重点課題の取りまとめが行われ、民家防音工事の恒久化については、各事業主体が引き続き実施していく、発着回数の増加に対応した防音工事済住宅の遮音効果の検証では、平成23年度は5件の調査を実施した結果、計画遮音量は維持されている、落下物から生活環境を守るための方策では、エアラインにおける点検・整備の徹底、エアライン・国の連絡体制の整備、脚下げ位置に関する指導の措置を講じ効果の検証を行う、とのことでした。

●グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議による提言

9月5日開催の会議において、成田空港を活用した県経済活性化のための戦略として、30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かすこと、県内外と成田のスムーズな人・物の流れを強化すること、成田空港を初めとした千葉県のような宝を積極的に発信すること、成田空港の活用に向けて総合的に取り組むことを掲げて、(仮称)成田空港活用協議会の設立を目指すこと、の4つの戦略が提言されたとのことでした。

●2013年夏期スケジュールにおける成田国際空港発着調整基準の概要

B滑走路西側誘導路の供用開始に伴い、2013年夏期スケジュールから年間発着容量が25万回から27万回に拡大可能となることから、発着回数を1週間あたり4,806回から5,192回に拡大するとのことでした。また、時間帯ごとでは6時から21時までの1時間値が58回から64回に拡大し、21時から23時までのB滑走路の最大発着回数をA滑走路と同数にする予定とのことでした。





医療問題 特別委員会



●成田赤十字病院市町村別救急車取扱状況（平成24年4月～6月分）

救急車で搬送された成田市の患者数は553人で、前年より110人減少しており、全体に占める成田市の利用率は33.8%とのことでした。

救急車の取り扱い件数については、入院率は増加していることから、軽症患者の受け入れの減少が要因と考えているとのことでした。

●成田市24時間医療相談ほっとライン利用状況（平成24年4月～6月分）

相談件数は2,594件で前年より1,061人増加しており、相談内容では、気になる身体の症状に関する相談が30.5%と最も多く、中でも症状についての相談が多いとのことでした。また、診療科目別で一番多かったのは小児科で、全体の33.6%とのことでした。

[主な質疑] **問** 前年と比べ1,061件増えているが、要因は。

答 PR用のマグネットや健康づくりカレンダーの配布により、徐々に周知されてきたことが理由と思われる。

地域防災 特別委員会



●成田市防災施策の基本方針

東日本大震災を受け、現在、地域防災計画の修正作業に着手しており、見直しにあたっての指針と防災施策の基本方針を定めたとのことでした。

基本方針の策定にあたっては、東日本大震災での市の対応における課題と国・県の各計画の見直しを踏まえ、自助・共助による被害の軽減、観光都市としての防災対策の充実、災害時要援護者の支援対策、庁内体制の整備、情報発信体制の整備、物資の確保体制の充実、様々なリスクへの対応、の7項目を定めたとのことでした。

●千葉県地域防災計画の修正

8月に開催された千葉県防災会議において、県地域防災計画の見直しが決定され、修正にあたっての基本方針として、3つの視点と8項目からなる重点項目に基づき計画が修正されているとのことでした。

見直しの重点項目としては、地域防災力の向上、津波対策の強化・推進、液状化対策の推進、支援物資の供給体制の見直し、災害時要援護者等の対策の推進、帰宅困難者等対策の推進、庁内体制の強化、放射性物質事故対策計画の見直し、とのことでした。

[主な質疑] **問** 原発事故対策について、具体的に加わる項目は。

答 県外に立地する原子力発電所等における事故にも対応するもので、事故の情報収集・発信体制の整備、放射線モニタリング体制の整備等について定める予定である。

一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

1. スポーツ環境の整備



飯島照明 議員



問 近ごろ、子どもたちのスポーツ活動が盛んであり、学校の体育の授業はもちろん、各種少年団やクラブチーム、サークル等、様々な場所で行われている。子どもたちは、団体活動以外でも様々な場所でサッカーや野球を行っていると思うが、成田市の公園では球技の活動が禁止されている。また、学校での利用も安全面を考慮し、基本的には認めていないということである。球技に関しては公園も学校の校庭も使えない状況で、子どもたちはどこで球技をしたらよいのか。特に、ニュータウン地区の子どもたちが球技で遊ぶ場所はどこにあると考えているか。

答 現在、ニュータウン地区に球技ができる場所として、中台運動公園球技場とニュータウンスポーツ広場がある。有料施設であるが中台運動公園球技場は、個人の利用も可能である。また、ニュータウンスポーツ広場は、指定管理者の管理であるため、利用者が許可を申請してからの利用になる。

その他の質問

- ◆スポーツ施設の利用時間
- ◆Wi-Fi環境の整備
- ◆カジノ・MICE^{注3}を含むIR^{注4}誘致の現状

注3 会議 (Meeting)、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

注4 カジノ施設、会議場施設、宿泊施設等が一体となっている複合的な施設。

2. 移転補償対策制度と運航禁止時間短縮

海保茂喜 議員



問 成田市は国に対する要望書の中で、航空機からの落下物事故は生命に関わる重大な事案であることから、移転補償対策制度を確立することを要望しているが、市として具体的な考えを持っているのか。また、成田空港の制限時間に間に合わずに、LCC^{注5}の欠航などが相次いだ問題で市長は「弾力的な運用も考える必要がある」と述べたとされている。国に対する移転補償対策制度の要望と、今回の運航禁止時間短縮というのはかかわりがあるのか。

償制度は確立されていない。飛行コース直下の住民の移転要望については、今後も機会あるごとに働きかけていきたい。また、新聞報道については、発言が断片的に報道されたものであり、成田空港の運航制限は国と地元との間で確認された、極めて重い約束であると十分認識している。国への要望と運航制限の緩和などのかかわりは決していない。

その他の質問

- ◆自治体の自律的なエネルギー政策の確立を
- ◆介護従事者の賃金・労働条件の改善に向けて

答 現状では航空機からの落下物の危険を回避するための移転補

注5 ローコストキャリア (Low Cost Carrier) の略称で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社。

3. 看護師奨学金制度

大倉富重雄 議員



▲市内唯一の看護学校である二葉看護学院

問 成田市は、市民の命を守る医療について、公的病院と民間病院・診療所に頼ることが大であり、ある意味で、医療資源に恵まれているとも言える。しかし、行政として主体的に医療にかかわれないため、医療行政をお願いする立場である。今後の地域医療の役割は増すばかりで、全国的にも医師・看護師不足が深刻な事態の中で、地域医療のあり方はどうあるべきかを問い直す必要がある。そこで、医療に対する基本的な考え方について、また、公的・民間医療機関への支援について、どのように考えているのか。

答 市民の健康を守るという観点から、地域医療は地域で支え守っていかなければならないと強く認識している。看護師を確保することは、地域医療を支えるうえで重要であることから、奨学金制度などについて検討していく。また、公的・民間医療機関への支援は、救急医療や医療機器の整備に対し、現在も負担や助成を行っているが、今後とも支援を検討していく。

その他の質問

- ◆来年7月公津の杜図書館開館
- ◆国保事業の医療費適正化を
- ◆義務付け・枠付けの見直し



4. カーフェュー緩和に向けて議論を

雨宮真吾 議員



▲成田空港に就航しているジェットスター・ジャパン

問 >>> 成田空港におけるLCCの遅延・欠航は、カーフェュー^{注6}が緩和されることで解消されることも多いと言えるのではないかと。運用時間制限のあり方を様々な視点から協議をしていくことの必要性を感じる。一方、成田空港は内陸空港であり、騒音下で生活されている方々への配慮も忘れてはならない。そこで成田市として、カーフェュー問題の認識と見解を伺う。

答 >>> 航空機騒音などの環境問題に配慮し、23時から翌朝6時までの間は原則として航空機の離着陸は行わないとする運航制限は、国と地

注6 空港周辺騒音防止対策の為に航空機の離着陸を禁止している時間帯。

元との間で確認された事項であり、大規模な内陸空港として運用されている成田空港においては、極めて重い約束であると認識している。カーフェューの緩和については、地域住民の生活環境の保全と成田空港の今後の運用のあり方など、まさに共生共栄の観点から、関係者間で慎重かつ十分に協議をしなければならない課題であると考えている。

その他の質問

- ◆ 大津市いじめ事件で明らかになった教育委員会制度の問題点
- ◆ LCCの遅延・欠航に対する再発防止に向けた働きかけ

5. 高齢化社会における施策

石渡孝春 議員



▲成田市内にある県営住宅

問 >>> 高齢者が安心して住める専用住宅の必要性が増大している。いずれ壊し建て替えなければならない耐用年数の期限の迫っている県営住宅を、高齢者専用住宅にしてほしいとの要望がある。建て主は千葉県であるが、見守り等のサービスを成田市が提供することで実現を早めることにつながるのではないかと。成田市としての可能なサポートについてどのように考えているか。

答 >>> 県ではサービス付き高齢者向け住宅をふやすことを柱とした千葉県高齢者居住安定確保計画を策定した。高齢者専用住宅の実現には、

注7 家から歩いていける範囲に乗降場を設けた乗合型のタクシー運行。

ニュータウン内の県営住宅の建て替えが前提となるが、今後県による建て替えが具体化された折には、福祉サービスの提供を含めた、高齢者専用住宅について協議していきたいと考えている。迫りくる超高齢社会に備え、高齢者に配慮した住宅の必要性は十分認識しており、今後も高齢者の居住問題に取り組んでいく。

その他の質問

- ◆ 本年度から変更となった敬老祝金制度
- ◆ オンデマンド交通^{注7}を市内全域に
- ◆ 保育園の受け入れ体制及び入園条件

6. 「カジノ誘致はしない」と明言を

馬込勝未 議員



問 >>> カジノのもたらす弊害として暴力団などの介入、犯罪の増加、ギャンブル依存症の増加、青少年への影響などがある。ギャンブル依存症は、意志薄弱、性格未熟など本人の資質の問題とされてきたが、精神疾患として認識する動きが広がっている。周囲の人間が傷つく度合いにおいても、ギャンブル依存症を超える病気はないとも言われている。法律で禁止されている賭博場、カジノを誘致してはならない。誘致の動きをすることは、カジノ合法化を目指す勢力の動きを後押しすることになる。自治体として、誘致はしないと明言をすべきではないか。

答 >>> カジノ問題については、賛否両論、様々な意見があるものと思われるが、今後も、国及び千葉県の動向を注視していきたい。また、IRの誘致をするかについては、市民全体の民意が大変重要であると認識しているので、まずは、民間レベルで議論が深まることを期待している。

その他の質問

- ◆ 看護学生等への奨学金制度の創設
- ◆ 子ども子育て新システムで保育内容が後退
- ◆ 自動点灯・消灯の照明で節電を



7. 地域農業への行政支援・育成のあり方



伊藤竹夫 議員



問 >>> 高齢化の波は、地域農業へも着実に影響が出てきている。地域によって差があるものの、5年後、10年後の農業の姿が描けていないという状況がある。持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を、一体的に解決していく必要があるが、そのためには、それぞれの集落・地域が抱える問題について、徹底的に話し合いを行う必要がある。担い手のいなくなった農地を集積したものを、どのような経営体に任せるのか。JA出資型の生産法人を立ち上げて、任せていく方法について、どのように考えるか。

答 >>> 後継者不足や高齢化などにより、担い手が十分に確保できない地域においては、地域の合意に基づき、地域の農業者が参加する集落営農の組織化とともに、課題はあるがJAが出資する農業生産法人などの設立も選択肢の一つであると考えられる。

その他の質問

- ◆総合型地域スポーツクラブの展望は
- ◆コミュニティFMを活用し地域に密着した情報発信を

8. 災害発生時の災害弱者の支援

青野勝行 議員



問 >>> 成田市では視覚障害者189名、聴覚・平衡機能障害245名、音声・言語そしゃく機能障害32名の方が生活している。避難誘導を支援するに当たり、手話や筆談、コミュニケーションボードが必要となる場合が想定されるが、支援者に要援護者の適性に応じた情報や支援道具などを用意しているのか。また、行政と自治会、支援協力者で要援護者の避難訓練をするべきではないか。

しての災害用コミュニケーションボードなどは、障がいのある人の避難所などでの情報のやりとりにも有効な手段として導入していく。今後も各自治会や自主防災組織が中心となり、要援護者や支援協力者を含む地区全体で地域に合った防災訓練を実施することができるよう、協力していきたい。

その他の質問

- ◆福祉の総合相談窓口設置の必要性
- ◆障がい者（児）の一貫した支援体制の整備

答 >>> 災害時における要援護者避難支援制度による支援者への情報提供については、同意のうえで基礎情報を開示している。支援の道具と

9. 農業の担い手育成



小澤孝一 議員



▲七沢地区でのサツマイモの収穫

問 >>> 国においては青年の就業意欲の喚起と就業後の定着を図るために、平成24年度より新規就農総合支援事業が開始された。それを受けて千葉県では青年就農者確保・育成給付金事業を開始するとのことであるが、成田市は新規就農総合支援事業や、市独自の給付金制度、担い手育成にどのような支援をしていくのかを伺う。

市独自の事業として、園芸振興対策推進事業、集団営農用機械施設整備事業により、農業機械施設導入の一部を助成し、コストの低減の支援をするとともに、連作障害や地力の低下を回避し、良質な農産物の生産販売を図るため、土壌改良を進める地力増進対策などを実施している。

その他の質問

- ◆下総小学校統合による子どもたちの不安と期待
- ◆閉校になった4校の校舎、校庭、施設の利用
- ◆農産物直売所に対する市の対応と計画

答 >>> 成田市においても、県の制定した青年就農者確保・育成給付金事業に該当する新規就農者へのヒアリングを行い、給付を行うために準備を進めている。また、担い手への

10. いじめから子どもを守る

會津素子 議員



問 >>> 大津市で起きた事件で、学校と教育委員会が一緒にしていた「いじめ隠し」が明らかになった。何重にも隠されたいじめの中で、被害者とその家族が味わった苦しみというのは想像を絶する。また、自分たちの立場を守ろうとする大人の姿勢に対して、深く傷ついた子どももたくさんいたと思われる。いじめはどこにでもあるものである。今後、いじめが発覚した際には決して隠さないで、ともかくまず子どもを守ってくれることを約束していただきたい。

答 >>> 子どもたちの毎日の生活をきちんと見ていくということが大

注8 インバータの照明器具を発展させた蛍光灯で、省エネルギー、省資源化が図れ、地球にやさしい照明器具として期待されている。

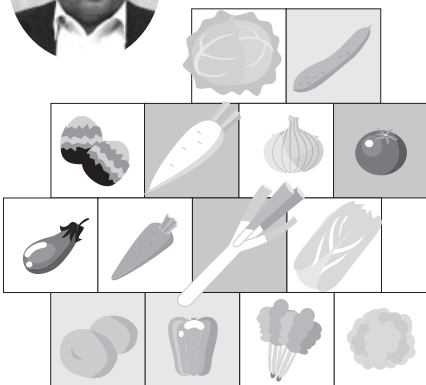
前提であると思う。その中で起きてしまった場合には、教育委員会と学校が連携をしながらその解決に向かっていく。悲しい結末になってしまいう前に、未然に防ぐということを中心に決めて、みんなで手を携えて取り組んでいきたい。

その他の質問

- ◆子どもがいつでも匿名で相談できる機関を
- ◆耐用年数を過ぎた照明器具は早急にHf照明^{注8}器具へ取り替えを
- ◆手動ポンプ式のミニ防災井戸の設置を

11. 農産物価格保証制度

福島浩一 議員



問 >>> 指定野菜^{注9}価格安定対策事業は、野菜の平均販売価格が保証基準額を下回った場合に差額を補てんする制度である。成田市では特産品のサツマイモを生産する際の輪作体系の中で、指定品目であるニンジン、大根が多く作付けされていることから、野菜の価格保証制度は、市においても重要な農業政策であると考えられる。そこで、JA負担分の一部を市が補助する考えはないか。

答 >>> 野菜の価格保証制度は、成田市においても、生産安定対策とともに重要な施策であると認識している。農産物価格保証制度のうち野

注9 消費量が多く国民生活にとって重要な野菜として野菜生産出荷安定法で定められた14種類の野菜。

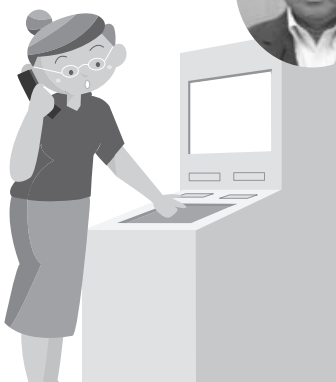
菜価格安定対策事業については、国と千葉県が支援していることから、本市としては、JAの負担分を補助するのではなく、市独自の施策として、今後も農業機械施設整備の助成等、生産安定対策を継続することで、野菜農家を支援していきたいと考えている。

その他の質問

- ◆主要産業である農業に意欲的に取り組む環境づくり
- ◆日中国交正常化40周年の年に日中友好をどのように考えるか

12. 振り込め詐欺防止

村嶋照等 議員



問 >>> 振り込め詐欺事件が引き続き多発しており、千葉県でも、平成24年上半期は、昨年より被害額で7割増の約7億5,000万円、件数も48件増の352件発生している。これは、東京都に次いで全国ワースト2位である。警察やマスコミも対策に取り組み、一定の成果も出ているようだが、手口も巧妙化し減らしていくのは大変なようである。県内でも被害が拡大しているが、成田市として現在どのような対策を講じているのか。

答 >>> 本市の防犯対策については、青色回転灯パトロール車による

広報活動や振り込め詐欺未然防止キャンペーン、また、防災行政無線・防災メールなどを活用した啓発活動を実施している。今後も引き続き関係機関と連携を図るとともに、高齢者に被害が多いことから敬老会などで啓発活動を実施し、振り込め詐欺の未然防止に努めていく。

その他の質問

- ◆学校施設における節電・省エネルギーの取り組みは
- ◆成田市の自治体としてのエネルギー自給率

13. 教育委員会制度のあり方

足立満智子 議員



問 >>> 滋賀県大津市のいじめ自殺問題では、いじめの深刻な実態とそれをめぐる学校・教育委員会の体質に厳しい批判が集中した。戦後民主主義教育を実現するために導入された教育委員会制度は、何度かの制度改革を経る中で会議が形骸化し、責任体制の不明確さ、機動性・弾力性の欠如などの機能不全を指摘され、制度の存続を含めたあり方が議論されてきた。これに対する成田市教育委員会の見解は。

答 >>> 大津市の事件では、教育委員会制度を運営する上で、大変重要である市長部局と教育委員会の連

携が不足していたと捉えている。教育委員会制度については否定的意見もある中、国においても改善に向けた検討がされている。成田市教育委員会としては、その動向を注視しつつ閉鎖的な組織とならないよう透明性を高めて行くとともに、教育行政の責任ある執行機関として主体性をもち、市長部局との連携を図りながら教育課題に対応していきたい。

その他の質問

- ◆生涯学習部を市長部局に
- ◆発達障害者支援法とその課題
- ◆(仮称)市民活動支援センターの設置を

14. 社会資本の予防保全長寿命化

水上幸彦 議員



▲20年後に建設後50年以上となる開戸橋

問 >>> 公明党では防災意識が高まっている中、日本全国の道路や上下水道などは老朽化が進み、20年後には全国で半分以上が建築後50年を迎えると試算をしている。成田市における橋梁の老朽化の状況を踏まえ、事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に政策転換を図ることによる財政効果と、今後の計画的長寿命化の推進について伺う。

答 >>> 平成21年度に策定した市道にかかる80橋の橋梁長寿命化修繕計画で今後100年間の修繕にかかる費用を試算すると、従来どおりの事後保全型から予防保全型に転換

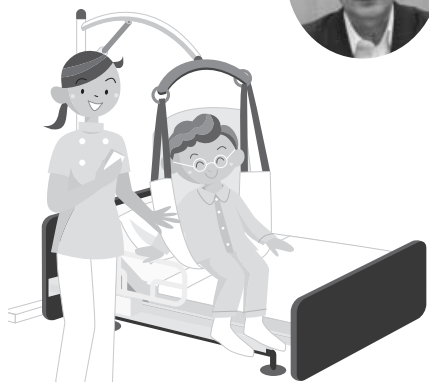
することで、75億円、約40%の予算の縮減を図ることができる。なお、25年度までに計画策定の必要な市内すべての橋梁について、整備の優先順位を決め、市全体の橋梁長寿命化修繕計画を公表し、26年度から計画に基づいた修繕を行い、効率的かつ効果的な維持管理による計画的長寿命化を推進していく。

その他の質問

- ◆学校適正配置の考え方による統廃合と教育のあり方
- ◆地縁団体(自治会・町内会)の重要性和市のかわり方
- ◆高齢者の生きがいづくり

15. 特別養護老人ホームの増設を

鵜澤 治 議員



問 >>> 特別養護老人ホームの待機者は全国で42万人おり、成田市では7月末現在で281名に及ぶ。その多くが高齢で要介護度も上がり、しかも在宅ひとり暮らしで辛抱強く入所できる日を待っている。市は待機者対策として平成26年度までに100床増設する予定であるが、高齢化が進行する中、待機者増に見合うように目標を引き上げた計画を検討してほしい。

答 >>> 特別養護老人ホームへの入所を希望する市民の待機者の解消と3カ年の介護保険給付費、またこれに伴う介護保険料との観点から

100床の整備を行う計画となっているが、既存施設の増設または新設を希望する多数の事業者がいると想定している。このため、増設または新設の要件は設けず、事業希望者を公募し、最も市民にとって好ましいと考えられる事業計画を採用していきたい。

その他の質問

- ◆カジノ賭博場誘致から全面撤退を
- ◆野田政権に対しTPP参加に反対表明を
- ◆住宅リフォーム助成で中小業者支援



16. 市内生産者への放射能被害損害賠償問題



油田 清 議員



問 >>> 成田市内の生産農家などが出荷している生活協同組合が、東京電力に対して風評被害による売上げ減少などの損害賠償請求をしている。しかし、東京電力は風評被害を避けるために生産者や生産地を変更するなど回避方策を講じる余地があるということを理由に、現在その一部しか認めず、風評被害を上塗りするような主張をしている。市内の生産者を守るという意味で、市はどのように考えているか。また、東京電力に対し何らかの申し入れを行う必要があると思うがどうか。

答 >>> 東京電力の回答は、放射

性物質による風評被害を受けている地域の生産者の被害を拡大しかねないものと考えている。成田市産の農産物を仕入れている業者が、仕入れ先を変更するよう言われているのであれば、出荷先を奪われる生産者が一番の被害をこうむることとなる。このような事例が明らかになった時は、東京電力より生産者を対象に適切な説明がされるよう申し入れ、損害賠償についての相談会を開催していきたい。

その他の質問

- ◆ごみ収集委託事業者のあり方
- ◆外国人英語講師の雇用のあり方

17. コンビニにおける証明書等の交付推進



一山貴志 議員



問 >>> コンビニ交付サービスは、自治体の窓口が開いてない日や自動交付機が利用できない時間帯でも証明書を取得することができる。市民が必要なときに都合のいい場所でサービスが受けられ、自治体にとっては、窓口業務の負担軽減など、コスト削減の効果にもつながる施策だと考える。平成25年春から大手2社が参入し、コンビニ3社が交付サービスを取り扱うことになり、参加自治体数も大幅に増加することが見込まれ、今後の展開が期待される。市民サービス向上のためにも、コンビニ交付サービスを導入してはどうか。成田市の見解を伺う。

答 >>> 成田市としても平成19年3月に自動交付機を設置し、23年10月からは総合窓口の開設、翌11月からは休日開庁サービスを月2回から毎週実施とするなど、市民サービスの改善と充実を図ってきたが、さらなる市民サービスの拡充のため、証明書等のコンビニ交付については、25年度中の開始に向けて現在検討を進めている。

その他の質問

- ◆いじめの実態把握と対策
- ◆通学路の安全対策

議会を傍聴してみませんか

本会議はもちろん、常任委員会・特別委員会の様子を傍聴することができます。

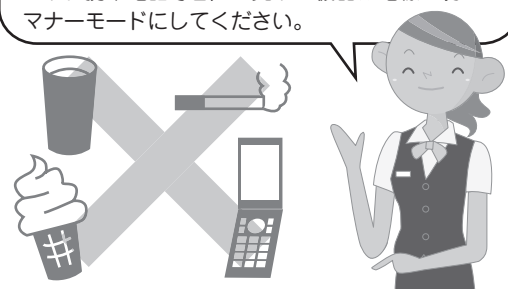
日程や一般質問の質問項目は、市議会ホームページで確認するか、議会事務局までお問い合わせください。

傍聴は、会議の始まる30分前から受け付けします。

- 本会議 (64席・車椅子用2席)
 - 議会棟4階 傍聴席入口
 - 1階福祉部右側エレベーターをご利用ください。
- 委員会 (10席)
 - 議会棟2階 議会事務局

傍聴席での注意事項

傍聴する方は、議事の妨げにならないよう大きな音を立てたり、拍手をしたり、また飲食や喫煙は禁止です。携帯電話等音声を発する機器は電源を切るかマナーモードにしてください。



請願・陳情について

市民の皆さんが、市政についての意見や要望を議会に提案できる制度として請願と陳情があります。法律によって定められた権利として、どなたでも提出することができます。

請願

請願の提出には、市議会議員の紹介が必要です。受理した請願は、委員会で審査し、本会議で採択・不採択の決定をします。

陳情

請願と違い紹介議員は必要ありません。市民の方から直接提出された陳情は請願と同様に委員会で審査されます。

提出方法

請願(陳情)者の住所・氏名・押印と、趣旨及び理由を記載して、議会事務局へ提出してください。請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。

請願・陳情はいつでも提出することができますが、各定例会(3・6・9・12月)の開会日1週間前までに提出されたものは、その定例会で審査されます。

【書式例】

平成 年 月 日

成田市議会議長 様

住所
氏名 印
紹介議員

○○○に関する請願(陳情)書

1 趣旨
○○○○○○○○○○○○○○○○

2 理由
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○。

以上のとおり請願いたします。

中学生議員から一般質問

8月23日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会について体験的に学んでもらい、市政への関心を深めてもらうため開かれるものです。市内中学校10校から代表22名が出席し、市政について中学生の視点で夢や意見・質問が出されました。



議員研修会を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

8月29日には、「成田国際空港と航空」をテーマに、CIMA人財教育開発のしまもとながのり島本長範氏を迎えて開催しました。



12月定例会は、11月30日(金)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760
TEL 0476(20)1570(直通)
FAX 0476(24)0336

コーヒータイム



「春暮れて後夏になり、夏果てて秋の来るにはあらず。」これは、徒然草第百五十五段中の文言である。何事にも前兆があり、急に事態が出現するのではないということを示唆しており、この言葉の予兆性は実に感深い。

さらに、吉田兼好はこの段をこう締めくくっている。「人みな死ある事を知りて、待つ事しかも急ならざるに、覚えずして来る。沖の干潟遥かなれども、磯より潮の満つるが如し。」

遥か遠くにあったはずの浅瀬がいつの間にか潮で満ちて磯になるのと似て、自分がいつかは死ぬと知ってはいても、その覚悟をしていない時に突然やってくるものだ。日々の積み重ねでしか自己の形成は図られないのだから、結果にのみ一喜一憂することのない人生を送りたいものだ。

そして、季節は秋となった。読書、スポーツ、芸術などさまざまな「自分の秋」があると思うが、徒然なるまま刻を過ごし、そして静かに秋色に染まっていったら…などと柄にもない感傷が去来するのも、そこはかとなし憂いが漂う秋という季節の為せるわざなのだろうか。

市議会だより編集委員 雨宮 真吾

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす紙を使用しています。

